

平成28年第10回（8月）袖ヶ浦市教育委員会定例会議事録

- 1 開催日時 平成28年8月22日(月) 午後2時35分 開会
午後4時15分 閉会

- 2 開催場所 袖ヶ浦市役所 2階第（一）会議室

- 3 出席者

教育長	川島 悟	教育長職務代理者	山口 修
委員	多田 正行	委員	福島 友子
委員	中村 伸子		

(欠席委員) なし

- 4 出席職員

教育部長	井口 崇	教育部次長 (兼教育総務課長)	森田 泰弘
教育部参事 (兼学校教育課長)	今宮 公雄	教育部参事 (兼生涯学習課長)	原田 光雄
体育振興課長	林 健司	中央図書館館長	冨島 正広
学校教育課副参事	井関 徹太郎	教育総務課副参事	溝口 輝
教育総務課班長	葛田 陽子	教育総務課副主査	山田 倫志

- 5 傍聴定員と傍聴人数

傍聴定員	5人
傍聴人数	0人

- 6 議 題

日程第1 前回会議録の承認について

日程第2 今回会議録署名人の選出について

日程第3 教育長・教育部長報告

日程第4 報告

報告第1号 臨時代理の報告について

(平成28年度一般会計補正予算(第2号))

報告第2号 袖ヶ浦市私立幼稚園就園奨励費補助金交付規則の一部改正
について

日程第5 その他報告

- (1) 袖ヶ浦市立図書館運営体制の見直しについて（答申）
- (2) 平成27年度袖ヶ浦市立図書館サービス状況点検・評価について
- (3) その他

7 議 事

日程第1 前回会議録の承認について

教育長 第9回袖ヶ浦市教育委員会の会議録の承認について、賛成の挙手を求める。

教育長 全員一致で承認された。

日程第2 今回会議録署名人の選出について

教育長 中村委員を指名した。

日程第3 教育長・教育部長報告

教育長 君津地方学校運営研修会（7月27日）、教育講演会（7月28日）、第45回子どもスポーツ大会（7月31日）、第66回千葉県民体育大会結団式・壮行会（8月1日）、第1回幼児教育カリキュラム策定委員会（8月2日）、第21回そでがうらわんぱくクエスト（8月2日～7日）、初期（3年目）教職員研修会（8月3日）、死亡叙位伝達（8月3日）、第2回文化財審議会（8月4日）、国登録有形文化財登録証伝達式（8月8日）、市校長会と市長との教育懇談会（8月9日）、市教職員組合「教育長と語る会」（8月10日）に出席した。

教育部長 特になし

日程第4 報告

報告第1号 臨時代理の報告について

（平成28年度一般会計補正予算（第2号））

教育長 事務局に説明を求める。

教育部次長（教育総務課長）

平成28年第3回（9月招集）議会定例会に付議する教育委員会に係

る予算について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定により、市長より意見を求められたものである。

本件は、教育委員会の議決を要する案件であるが、急施を要するため教育委員会を招集する時間がなかったことから、袖ヶ浦市教育委員会行政組織規則第6条第1項の規定により、教育委員会に係る平成28年度一般会計補正予算（第2号）予算議案に同意することについて、教育長が臨時に代理議決したので報告するものである。

補正内容として、歳入では、道德教育振興に係る寄附金50千円増、車両物損事故に係る自動車損害保険金151千円増により、歳入総額は201千円の増である。

歳出の主なものとしては、小学校運営事業で長浦小学校職員室空調設備更新工事3,562千円増、子どもを育む学校・家庭・地域連携事業で寄附に伴う紙芝居の印刷代50千円増、幼稚園運営事業で職員欠員補充分の人件費3,751千円増、社会教育運営事務費で君津地方視聴覚教材センター協議会負担金1,253千円増、施設管理事業で平川公民館191千円・長浦公民館639千円・根形公民館525千円・中央図書館134千円増、運動広場管理事業で長浦運動広場テニスコート人工芝修繕工事2,180千円増等により14,420千円の増である。

また、人事異動に伴う人件費15,484千円減を差引きすると、歳出総額は1,064千円の減額となった。

教育長 ただいまの説明について委員に質疑を求める。

山口教育長職務代理者

長浦運動広場テニスコートの利用者は多いのですか。

教育部次長（教育総務課長）

テニスコートの利用者は長浦運動広場が一番多い。

今回の補正要望はテニスコート2面のうち、1面の張替え工事である。

山口教育長職務代理者

1度の張替えでどのくらいの耐用年数があるものですか。

教育部次長（教育総務課長）

使用頻度にもよるが、おおよそ5年から10年である。

（他に質疑なし）

報告第2号 袖ヶ浦市私立幼稚園就園奨励費補助金交付規則の一部改正
について

教育長 事務局に説明を求める。

教育部参事（学校教育課長）

袖ヶ浦市私立幼稚園就園奨励費補助金交付規則の一部が改正されたので報告するものである。

改正の概要は、平成28年度国庫補助基準の改正に伴い、ひとり親世帯等の保護者負担軽減の特例措置の創設及び、多子世帯における保護者負担軽減措置の拡充として小学校3年生以下の兄・姉を対象範囲とした従来の年齢制限を撤廃し、年齢に関わらず多子計算の算定対象とする（ただし生計を一にするものに限る）制度の拡充を行った。

また、国庫補助基準の改正に伴う平成28年度の私立幼稚園就園奨励費補助金額は、60,089,400円となる見込みである。

教育長 ただいまの説明について委員に質疑を求める。

福島委員 参考資料P.6 平成27年度実績で市原市の就園奨励費が4,210,701,000円となっているが、421,070,100円ではないか。

教育部参事（学校教育課長）

421,070,100円が正しい。お詫びして訂正させていただきます。

（他に質疑なし）

日程第5 その他報告

（1）袖ヶ浦市立図書館運営体制の見直しについて（答申）

教育長 事務局に説明を求める。

中央図書館長

袖ヶ浦市立図書館運営体制の見直しは、公共施設の再編整備の課題や第6次行政改革の取り組みの中で、平成29年9月に現在の委託業務契約が終了することから、その後の運営体制を検討するものであり、袖ヶ浦市立図書館は平成27年7月に同市立図書館協議会へ「袖ヶ浦市立図書館運営体制の見直しについて」諮問した。

その後、図書館協議会では研究会を立ち上げ、先進図書館へ視察、君

津地方社会教育研究会図書館研究部会の研修会への参加、内部研究会を行い、指定管理者制度の現状や課題、袖ヶ浦市立図書館の取り組み、他の自治体の事例研究、運営形態の比較等について審議した。その結果、平成28年8月に図書館協議会から袖ヶ浦市立図書館へ答申があったので報告するものである。

答申では、現状での運営体制（直営及び窓口一部委託）と指定管理者制度の評価を比較し、現在の運営体制である「直営及び窓口一部委託」が、利用者に対しサービスの質の維持・向上の面から最も適切であるという結論に至った。

教育長 ただいまの説明について委員に質疑を求める。

山口教育長職務代理者

袖ヶ浦市立図書館ではどのようなことを使命として捉えているのか伺います。それによって指定管理者制度の必要性が出てくると思う。

中央図書館長

図書の購入について言えば、一般書と趣味娯楽を基本とし、中央図書館は専門書を中心にレファレンスを展開、長浦おかのうえ図書館と平川図書館では専門書でも入門的な図書を購入するなど、館によって特色を持たせている。

山口教育長職務代理者

電子情報化がさらに進んでいく中で、特に若い世代は図書館の利用が減ってくると思われる。これらに対して今後、図書館ではどのような方針で展開していくのかを考えていく必要があると思うが、図書館協議会でそのようなことを議論されていますか。

中央図書館長

図書館資料については、収集整理をし、将来的には財産として継承していかなければならないと認識している。

また、電子書籍としてライセンス料をとっても図書館の資料の財産としては残らないため、ペーパー（書籍）として残していく必要があると考えている。

山口教育長職務代理者

ペーパー以外のところに時代が流れてきているので、アカデミックに

固執することなく高度情報化社会に対応した、次の世代に対して、公民館も含めて、図書館はどのようにあるべきか議論をして欲しい。

中央図書館長

平成28年度から図書館の一部のエリアにお茶を飲めるようにした。

また、今年度はアンケート調査を実施するので、調査の意見も踏まながら親しまれる図書館としての需要に応えていきたい。

教育長

第3次図書館サービス網計画を策定しているところであるが、社会情勢の変化に対応していく図書館としてどのような形、「図書館の顔」としていくのか論じられた方が良いのではないか。

中村委員

袖ヶ浦市の図書館は、蔵書の構成で言うならば、長浦おかのうえ図書館ではビジネス書の系統を充実させる、根形図書室では陶芸などの実用書を充実させるというように、3図書館・2図書室がそれぞれ特徴を持っている。収集はこのような特色を持ち、貸出しはネットワークによって関係機関との連携を図っており、今後も同様な形で進めていくことが望ましいと思う。

また、以前から図書館協議会において、中央図書館の中庭でお茶が飲めないかという意見が出ていたが、これまでは無料の原則を前提に不可能とされていた。収納（収益）ということにとらわれずに、今後の若い世代のことを考えて、もっと柔軟な考えを持って良いと思う。

直営を基本として一部カウンター業務を委託している現在の運営方法は、ネットワークによる連携もとられており非常に効率的な方法であるので、これからも利用者に対して素早く連携し動いていくことを心がけて、さらにサービスの充実に努めていただきたい。

山口教育長職務代理者

図書の貸し出しだけでなく、図書館を中心として市民参加による読書会や市民が主体となっているサークルやグループとの活動の仕掛けを加味したらどうですか。

多田委員

読書会については袖ヶ浦市内の図書館で是非、開催していただきたい。

木更津市の図書館で行っている古典の読書会に通い始めて「方丈記」を紐解いているが、読みどころは多く講座の必要性を切実に感じている。袖ヶ浦市でも古典に興味ある人は多いと思われるので、利用増につながる課題として検討していただきたい。

教育部長 以前に図書館で古典講座を行っていたことがあったので、経緯も含めて魅力的な講座について考えていきたい。

また、中央図書館では郷土資料の収集にも心がけており、図書館司書の専門性も活かせるところでもあるので、普及面も考慮していきたい。

中村委員 現状での運営体制の評価中、④学校との連携の中で「図書館を使った調べる学習コンクールにおいては長浦おかのうえ図書館が拠点となって、所蔵している資料に精通した司書が学校の要求に応じた資料を選定して提供することにより・・・」という記載があるが、実際にはすべての図書館・図書室で対応しているので、全体的に支援しているという表現をした方が良いと思う。以前に、袖ヶ浦市の児童書の月平均の貸出冊数は約13,000冊で、夏休み期間中の7月・8月は約20,000冊を超えているということを伺った。袖ヶ浦市の図書館のたくさんの資料を子ども達へ提供し、サポートしているということがわかるような内容が記載されていれば、もっと良かったと思う。

教育部次長（教育総務課長）

答申書はすでに受けているため、いただいた意見については今後の事業活動に反映させていく。

中村委員 説明をしていく中で加えていただきたい。

（他に質疑なし）

（2）平成27年度袖ヶ浦市立図書館サービス状況点検・評価について

教育長 事務局に説明を求める。

中央図書館長

平成23年度に策定した袖ヶ浦市第3次図書館サービス網計画の中で、市民サービス水準の向上と図書館の目的及び社会的使命を達成するため「数値目標」を設定し、各年度の図書館サービスの状況について、図書館協議会の協力を得ながら自ら点検及び評価を行ったので、報告するものである。

なお、図書館を取り巻く環境の変化等に柔軟に対応するために、計画期間を前期と後期に分け、前期計画期間終了時に5年間を通じて取り組んだ施策について再点検・評価を行い、その内容を後期計画に反映する。

中村委員 サービス目標（2）社会情勢の変化に対応したサービスの充実の中で、

学校図書館へ団体貸出の年間4,765冊にセット貸出1,250冊を加えて6,015冊になったのでB評価にしたという説明があったが、セット貸出し分を含めての評価であるので、実績値の4,765冊はセット貸出しを含めた数としなくても良いのですか。

中央図書館長

従前からセット貸出しを含めない数としているので、比較する上で同様に記載した。

教育長

団体貸出の実績の中で、セット貸出数を加えた数をかっこ書き等で記載したら良いのではないか。

中央図書館長

そのようにわかりやすく記載する。

教育部次長（教育総務課長）

p.1のサービス目標の評価指標と実績推移で、「学校への団体貸出」の欄外に注意書きで記載するなど表現を工夫すると良いのではないか。

山口教育長職務代理者

サービス目標（3）利用者に応じたサービス「⑥ボランティア活動をする人のため」の中で、ボランティア活動をする人が確保できないためB評価・C評価になっていると思うが、これからのまちづくりの主体は市民であるから、図書館に限らず公民館も含め、そのしかけを行政が積極的に働きかけてほしい。それらを念頭においてボランティアをどうやって増やしていくのかを考えて欲しい。

（その他質疑なし）

（3）その他

（特になし）